

イベント報告

第1回 大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークセミナー もっと知って！技術職員のこと-関西から広げる輪-

日時： 令和3年12月23日（木）13：30～15：30

場所： オンライン（Zoom）

参加人数： 84名（参加申込者92名、大学等34機関）

このセミナーは、大学において少数であることから、認知度の低い技術職員について教職員や学生にその存在を広く知っていただくとともに、教員・行政側から技術職員に関する支援体制や期待を技術職員が知るにより技術職員に対する支援制度や改善策を提案する場になることを目的として開催いたしました。

最初に、西尾章治郎本学総長による開会の挨拶（ビデオ）をいただき、続いて中本有紀本学部局横断型女性技術職員ネットワーク（以下、女技ネット）代表より女技ネットについて説明を行いました。

特別講演では、中川尚志前文部科学省大臣官房政策課政策推進室長（現デジタル庁企画官）よりお話をいただきました。中央官庁の行政官の立場から、技術職員に対する政策に関わられた経験、具体的には研究基盤イノベーション政策における技術職員の研究支援体制の現状、日本における研究機器の現状から技術職員がどう関わるべきか、技術職の評価方法をどう考えるかという技術職員一人一人にとっても今後の考えるべき話題提供がありました。

続いて、田中敏宏本学理事・副学長、中山敦子岩手大学工学部教授、屋比久祐盛琉球大学工学部技術部技術長をパネリストに迎え、女技ネットからは黒住貴代佳本学理学研究科技術部技術職員がパネリスト、江口奈緒本学科学機器リノベーション・工作センター技術職員がファシリテータを務めパネルディスカッションが行われました。最初に田中理事より本学工学研究科技術部発足を中心とした技術職員の役割と期待のお話があり、その後事前に申し込み者からいただいた技術職員についての疑問点、期待することのご意見をもとに、学内外技術職員組織およびコアファシリティ事業のうち技術職員に関するものの現状と課題、女性技術職員の産休・育休についての現状と課題等、時折特別講演講師の中川氏からのコメントもいただきながら活発なトークが行われました。



当日は、年末の多忙な時期にもかかわらず84名の参加をいただきました。

セミナー開催には本学男女協働推進センターの共催、本学基礎工学研究科・理学研究科・工学研究科・産業科学研究所・蛋白質研究所のご後援をいただきました。末筆ながら厚くお礼申し上げます。